

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【公開番号】特開2018-81560(P2018-81560A)

【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2018-019

【出願番号】特願2016-224222(P2016-224222)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/08 (2012.01)

G 06 Q 10/00 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 50/08

G 06 Q 10/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月1日(2019.11.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造物が立地する立地地域の地理に関する項目を含む地理情報、前記立地地域の気象に関する項目を含む気象情報、及び前記構造物に関する項目を含む構造物情報の少なくとも1つを取得する関連情報取得部と、

前記構造物に発生したクラックに関するクラック情報を取得するクラック情報取得部と、

前記地理情報、前記気象情報、前記構造物情報、及び前記クラック情報の少なくとも1つに基づいて、前記クラックの幅を測定する測定周期を決定する測定周期決定部と、

前記決定された測定周期に関連する測定周期情報を示す測定周期信号を出力する測定周期出力部と、

を有することを特徴とする測定周期決定装置。

【請求項2】

前記クラック情報に基づいて、前記測定周期を更新する測定周期更新部を更に有し、

前記測定周期出力部は、前記更新された測定周期を示す更新測定周期信号出力する、請求項1に記載の測定周期決定装置。

【請求項3】

前記クラック情報は、前記クラックに貼付けられ、第1方向に延伸する複数の線画を含む第1パターンを有する第1層部、及び前記第1層部と重ねられ且つ前記第1方向とは異なる第2方向に延伸する複数の線画を含む第2パターンを有する第2層部を含み、前記第1パターンと前記第2パターンが重ねられたことによりモアレが発生するシートを撮像した画像を示す画像データを含み、

前記測定周期更新部は、先に取得した前記画像データに対応する前記モアレと、今回取得された前記画像に対応する前記モアレとの比較に基づいて、前記クラックの成長幅を推定するクラック成長幅推定部を有する、請求項2に記載の測定周期決定装置。

【請求項4】

前記クラック情報は、前記クラックの成長幅及び前記クラックの幅の少なくとも1つを含む、請求項1又は2に記載の測定周期決定装置。

【請求項 5】

前記地理情報、前記気象情報、前記構造物情報、及び前記クラック情報に含まれる少なくとも1つの項目は、数値に関連付けられ、

前記測定周期決定部は、所定の項目に関連付けられた数値の合計値が、所定の第1しきい値以下のときに、前記測定周期を所定の第1周期に決定する、請求項1～4の何れか一項に記載の測定周期決定装置。

【請求項 6】

前記測定周期決定部は、

前記地理情報、前記気象情報、前記構造物情報、及び前記クラック情報の少なくとも1つに含まれる項目のそれぞれを、区分を示す数値に数値化する数値化部と、

前記数値化部によって数値化された数値を加算して前記合計値を演算する合計値演算部と、

前記合計値が前記第1しきい値以下であるときに、前記第1周期を前記測定周期に決定する第1判定部と、

を有する、請求項5に記載の測定周期決定装置。

【請求項 7】

前記測定周期決定部は、前記クラックの幅が所定の第2しきい値以下のときに、前記測定周期を前記第1周期よりも短い第2周期に決定し、前記クラックの幅が前記第2しきい値より大きいときに、前記測定周期を前記第2周期よりも短い第3周期に決定する、請求項6に記載の測定周期決定装置。

【請求項 8】

前記測定周期決定部は、前記合計値が前記第1しきい値より大きく且つ前記クラックの幅が前記第2しきい値以下であるときに前記第2周期を前記測定周期に決定し、前記合計値が前記第1しきい値より大きく且つ前記クラックの幅が前記第2しきい値より大きいときに前記第3周期を前記測定周期に決定する第2判定部を更に有する、請求項7に記載の測定周期決定装置。

【請求項 9】

前記測定周期情報は、前記測定周期、前記クラックの幅を次に測定する日にち、及び前記クラックの幅を測定する日にちが所定の日にちしきい値よりも近いことを示す警報の少なくとも1つを含む、請求項1～8の何れか一項に記載の測定周期決定装置。